



第9回身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日 2012年12月1日

編集 全国水環境マップ実行委員会事務局

発行 全国水環境マップ実行委員会

発行所 全国水環境マップ実行委員会事務局
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
みずとみどり研究会気付
TEL/FAX：042-327-3169
E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp
URL：http://www.japan-mizumap.org
発行部数 6,000部

第9回 2012

身近な水環境の 全国一斉調査

●●笑顔でつなぐゆたかな水辺●●

第9回 調査結果概要

2012

第14回日本水大賞で
国土交通大臣賞を受賞！

目次

I 調査の背景	P.1
II 調査の実施手法	P.2
III 調査結果の概要	P.3
全国一斉調査諸データの推移	P.4
2012 全国水環境マップ 第9回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.5
2004 全国水環境マップ 第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.6
IV 各ブロックでの調査結果	P.7
北海道地方	P.7
東北地方	P.8
北陸地方	P.9
関東地方	P.10
中部地方	P.11
近畿地方	P.12
中国地方	P.13
四国地方	P.14
九州地方	P.15
沖縄地方	P.16
V 一斉調査結果の活用事例紹介	P.17
VI 継続調査参加団体	P.19
VII 全国水環境マップ実行委員会名簿	P.20
VIII 身近な水環境を調べよう！第10回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い	P.21
第10回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙	P.22

「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年6月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。
本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見を掲載しました。

本調査は財団法人河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けて実施しています。
今回の調査器材は(株)共立理化学研究所から提供を受けています。

全国水環境マップ実行委員会

I 調査の背景

近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まっています。市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は1980年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていません。このような多くの市民調査の結果を有効に利用するためには統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。



多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。そのため、2004年から全国で水質調査を実践している市民団体等が国土交通省及び財団法人河川環境管理財団と連携して、全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を一斉に調査し、全国の水環境マップを作成することにしました。

「身近な水環境の全国一斉調査」により多くの河川などで水辺の様子や水質などの現状が把握できます。一斉調査は当日の天候にも影響されますが、さらに、毎年、継続して実施することにより水環境の変化やその原因などが明らかになります。市民が自ら水質を調査し、水環境の実態を明らかにすることにより、その保全と修復に関する今後の活動へ発展することが期待されます。

「身近な水環境の一斉調査」は2004年6月に開始され、9年間で延べ65,000人の市民や学校の子どもたちが参加しました。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待しています。

「身近な水環境の一斉調査」は2004年6月に開始され、9年間で延べ65,000人の市民や学校の子どもたちが参加しました。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待しています。

目的と意義 ～自分たちで調べて、環境保全につなげよう～

1. 身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2. 統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3. 身近な水環境の調査結果をすぐを知ることができる（行政による水質調査結果の公表はおおよそ1年後である）。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4. 河川などの流域で、多くの人が調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5. 同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6. 身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7. 水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8. 汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9. 調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10. 子どもたちが調査に参加することにより、100年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

II 調査の実施手法

調査の概要

調査日：2012年6月3日（日）の統一日を中心に実施
調査者：『全国水環境マップ実行委員会（委員長：小倉紀雄・東京農工大名誉教授）』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。
調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、簡易測定器材でCODを測定。

調査項目

●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と三種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、簡易測定器材でCODを測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することで簡易測定器材の反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

●COD（化学的酸素要求量）

水質汚濁の指標の一つとして用いられます。今回の調査は簡易測定器材を用いて、同一試料を3回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

調査の手法

●採水

- ①雨天や増水などによる調査の中止も考慮し、これまでに調査継続してきた地点や新たに調査してみたい地点を決定します。調査地点を調査票に記入します。
- ②より正確なデータ測定のため、水質の時間変化を考慮し採水時間は午前中に行います。
- ③試水を入れる容器は予め良く洗って乾かし、採水地点名・記号・採水日時を明記しておきます。採水器具や試水を入れる容器は採水を行う川の水で十分に共洗いします。
- ④浅く流れが穏やかな川では、川に入り川の中央で上流に向かって採水し、深い川や流れの速い川では、橋などの上からロープをつけたバケツを下ろし採水します。舞い上げられたゴミなどが混入しないよう十分注意して行います。
- ⑤調査月日・調査時刻・天気とともに、採水地点の気温と採水した試水の水温を測定し調査票に記入します。

●CODの測定

- ①試水の水温を測定し反応時間を決定します。
- ②添付の操作手順書に従い測定します。
- ③反応時間終了後ただちに標準色と比べ測定値を調査票に記入します。
- ④同じ試水で3回測定します。





調査結果の概要

継続は力なり、100年の眼でモニタリングを続けよう

今年で9年目となる本調査ですが、今年6月に第14回日本水大賞の国土交通大臣賞を受賞することができました。調査に参加された皆さま、調査器材をご提供いただいた(株)共立理化学研究所、そのほかご協力をいただいた関係各所の皆さまありがとうございました。



今回の受賞理由に8年間にわたる全国一斉調査の実施、多くの市民団体や学校などの参加したこと、水質調査自体も簡易法ではあるが、同じ試水を3回測定することなど精度・信頼性を確保したことなどが挙げられていました。もちろん、本調査の最大の特徴である全国で一斉に調査をする点で、官・民・学の連携意識の向上や迅速な結果の公表、全国水質マップの作成、また、次世代によりよい水環境を残すため、「100年の眼」で継続・実施していく点での期待も含まれ評価がされました。

今後とも皆さんと一緒に調査を続けていきたいと思っています。

全国統一日

調査日 2012年6月3日(日)
参加団体数 515団体(個人参加含む)
調査地点数 2,576地点

調査総数(全国)

期間 2012年5月7日～7月23日まで
参加団体数 923団体[参考:第1回 531団体、第2回 1,000団体、第3回 944団体、第4回 917団体、第5回 997団体、第6回 1,011団体、第7回 913団体、第8回 909団体]
地点総数 5,559地点[参考:第1回 2,545地点、第2回 5,018地点、第3回 4,923地点、第4回 5,473地点、第5回 6,241地点、第6回 5,683地点、第7回 5,909地点、第8回 5,660地点]
※8月に実施した調査結果を送っていただいたところもありますが、こちらは参考値とさせていただきます。

調査地点(海外)

なし

調査のまとめ

今年も47都道府県で5,559地点と多くの水辺で調査が実施されました。傾向としては都市河川での実施率が多いのですが、水質が良好なCOD 0～3mgO/L未満の地点が34%となっています。また、全国マップを見るとまだまだ調査されていない地域や河川が多く見受けられます。日ごろから身近な水環境に関心を持ち調査することが望ましいのですが、日々の生活の忙しい中で続けていくことは大変かと思います。年に一回の本調査であっても昨年、一昨年との変化や新しい発見があると思います。今年の返送された結果の中のコメントでは、調査地点で定点や初めて調査する場所などでも以前は水が豊富にあったと記憶していた地点を実施しようとしたところ、水量が少ないまたは無い状態で調査が実施できなかったという報告が52地点もありました。水質調査によるデータももちろん大事ですがこのような川や水辺の変化なども貴重な記録になります。本調査では水質マップはもちろん、このようなデータの蓄積を行っていき、参加者の要望に応じて過去の状況を皆さまにフィードバックしていけるようにしてまいります。そのために日本を網羅した調査で100年の眼を持って経年的に続けることを目指します。

全国一斉調査諸データの推移

●年別 参加団体及び調査地点数集計結果

作成: 全国水環境マップ実行委員会

都道府県名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年	
	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点
1 北海道	7	26	17	48	20	112	38	179	48	273	41	184	35	264	33	158	35	202
2 青森県	11	35	14	35	11	24	13	41	13	30	6	19	7	31	8	31	9	22
3 岩手県	8	24	21	35	12	30	13	36	9	41	12	24	11	76	12	49	7	18
4 宮城県	5	58	11	95	17	122	8	96	7	92	13	110	7	70	7	30	10	43
5 秋田県	2	5	9	27	9	30	10	44	16	50	6	42	5	24	4	11	4	13
6 山形県	105	271	112	275	80	211	28	55	60	162	21	50	23	50	2	51	2	51
7 福島県	1	3	4	4	2	3	11	38	12	46	6	38	4	87	5	48	6	87
8 茨城県	46	235	43	303	38	295	30	295	27	283	34	293	30	278	30	297	34	293
9 栃木県	2	4	2	4	9	27	12	41	6	25	6	16	4	9	3	5	6	15
10 群馬県	2	2	10	39	9	36	8	23	6	48	9	54	6	51	5	46	5	69
11 埼玉県	47	252	94	444	87	438	46	450	110	603	79	470	75	539	66	454	70	477
12 千葉県	4	16	13	40	40	114	17	98	16	97	17	82	19	79	15	66	18	85
13 東京都	87	373	116	546	112	521	120	543	113	640	111	648	116	723	94	599	110	625
14 神奈川県	19	72	29	193	39	220	41	256	23	236	28	230	35	266	30	277	36	298
15 新潟県	5	85	26	190	34	224	30	340	59	412	54	346	54	417	47	335	27	367
16 富山県	0	0	7	15	5	9	11	36	8	28	7	27	7	26	7	28	7	24
17 石川県	2	13	12	48	6	16	7	19	5	12	7	15	5	13	5	13	5	12
18 福井県	6	20	3	41	5	46	3	43	4	52	7	61	4	50	5	49	2	45
19 山梨県	49	213	70	250	41	161	36	160	36	147	42	163	41	163	43	194	41	162
20 長野県	4	11	19	68	8	64	10	53	14	97	26	130	19	116	26	196	25	208
21 岐阜県	5	23	9	29	9	31	9	36	16	55	18	71	10	33	11	26	13	23
22 静岡県	24	106	24	93	24	103	17	66	12	196	10	47	8	44	10	34	9	30
23 愛知県	22	66	35	142	31	115	27	70	38	89	54	164	33	114	22	78	26	114
24 三重県	2	55	11	79	13	82	11	101	8	97	16	121	15	106	9	47	9	44
25 滋賀県	4	114	54	473	63	605	86	739	87	773	114	709	110	760	98	721	116	646
26 京都府	4	40	7	55	9	49	7	54	6	101	21	108	18	111	18	119	19	104
27 大阪府	14	81	14	91	17	124	20	157	15	154	30	236	53	338	55	301	63	275
28 兵庫県	2	13	19	65	23	84	22	82	17	78	32	98	33	129	35	150	41	147
29 奈良県	2	7	13	26	7	46	6	31	9	31	23	56	12	42	16	55	18	56
30 和歌山県	0	0	5	20	2	6	5	13	9	27	7	14	12	28	6	22	14	48
31 鳥取県	3	8	4	11	2	4	4	6	4	10	3	4	1	2	2	4	2	4
32 島根県	1	2	3	6	4	12	1	2	2	10	5	20	3	13	2	11	3	15
33 岡山県	1	20	12	143	16	164	15	176	12	176	17	183	17	199	12	195	25	238
34 広島県	1	17	4	45	9	91	7	80	7	83	5	76	5	73	3	18	3	43
35 山口県	5	17	6	21	5	18	2	27	7	99	4	34	3	16	3	17	6	23
36 徳島県	8	74	16	72	12	29	24	147	23	95	13	54	9	38	103	376	38	142
37 香川県	1	2	3	9	5	12	8	18	5	17	6	19	5	16	4	12	5	12
38 愛媛県	7	60	39	519	13	166	14	219	11	285	11	209	17	210	14	237	13	150
39 高知県	8	33	29	96	34	99	60	197	21	52	26	68	17	68	16	72	17	58
40 福岡県	4	29	11	36	11	63	14	56	21	104	19	84	16	66	14	60	17	77
41 佐賀県	0	0	33	123	32	110	33	124	37	120	37	112	26	82	17	57	10	43
42 長崎県	0	0	7	16	9	15	5	10	4	10	5	12	6	13	4	12	6	16
43 熊本県	1	3	2	11	4	15	11	21	8	34	4	13	4	9	1	3	3	10
44 大分県	6	19	6	18	5	30	4	21	7	40	7	47	5	19	4	18	2	26
45 宮崎県	8	34	8	44	8	44	8	43	4	39	3	33	2	7	3	38	4	49
46 鹿児島県	0	0	12	41	15	70	14	77	9	59	10	55	2	7	3	8	7	14
47 沖縄県	2	4	13	34	12	33	11	54	6	33	7	34	7	38	8	32	8	36
合計	547	2,545	1,031	5,018	978	4,923	937	5,473	997	6,241	1,039	5,683	956	5,909	940	5,660	956	5,559
実団体数	531		1,000		944		917		997		1,011		913		909		923	

ただし調査団体数は同一団体が他都道府県に及んでいる場合重複カウントしている。 実団体数の数値が真値。

●調査グループ記入票集計結果

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
参加者総数	4,000	8,377	8,464	8,151	8,737	8,204	6,905	6,084	6,226
小学生以下		3,739	3,289	2,919	2,498	2,216	1,860	1,721	1,692
中学生以上の学生		945	923	931	958	919	766	684	667
大人		3,563	3,827	4,516	4,955	4,697	4,026	3,602	3,404

調査グループ記入票の人数は参加者からの記入されているとおりカウントしている為、参加者総数と各年代の合計と必ずしも一致しません。

●一斉調査日実施状況

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
団体数	360団体	600団体	587団体	547団体	508団体	569団体	510団体	499団体	515団体
地点数	1,875地点	3,288地点	3,044地点	3,158地点	3,483地点	3,072地点	2,755地点	2,755地点	2,576地点

●海外データ

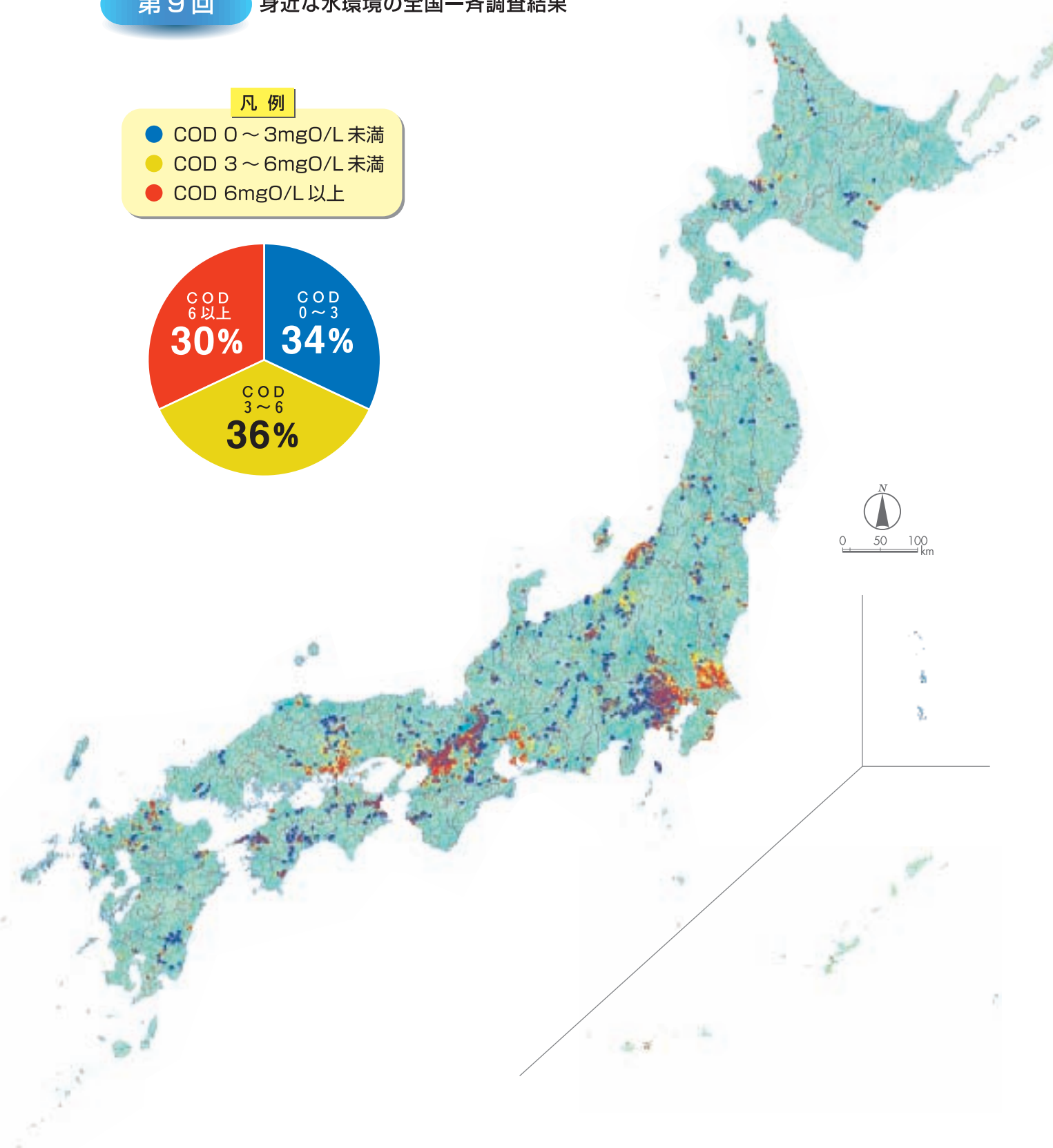
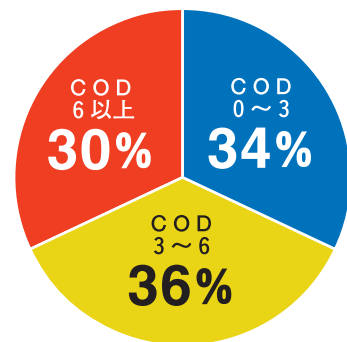
国名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	地点数	地点数	地点数	地点数
中国	8	5	63	—	3	—	2	1	—	—	—	—	—
韓国	4	1					3	2	—	—	—	—	—
チェコ共和国			1						—	—	—	—	—
イギリス									—	—	—	2	—

2012全国水環境マップ

第9回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

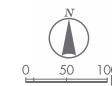


2004全国水環境マップ

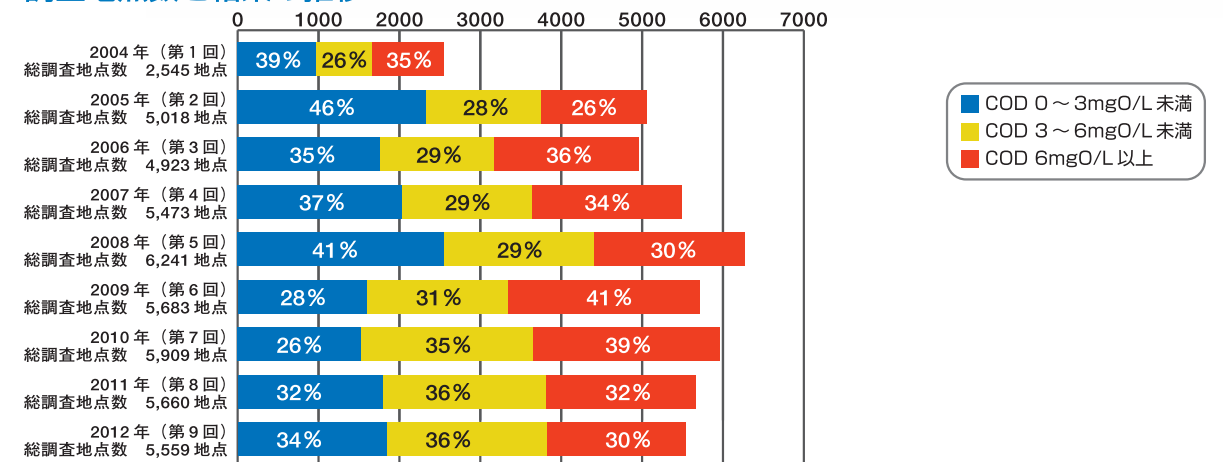
第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

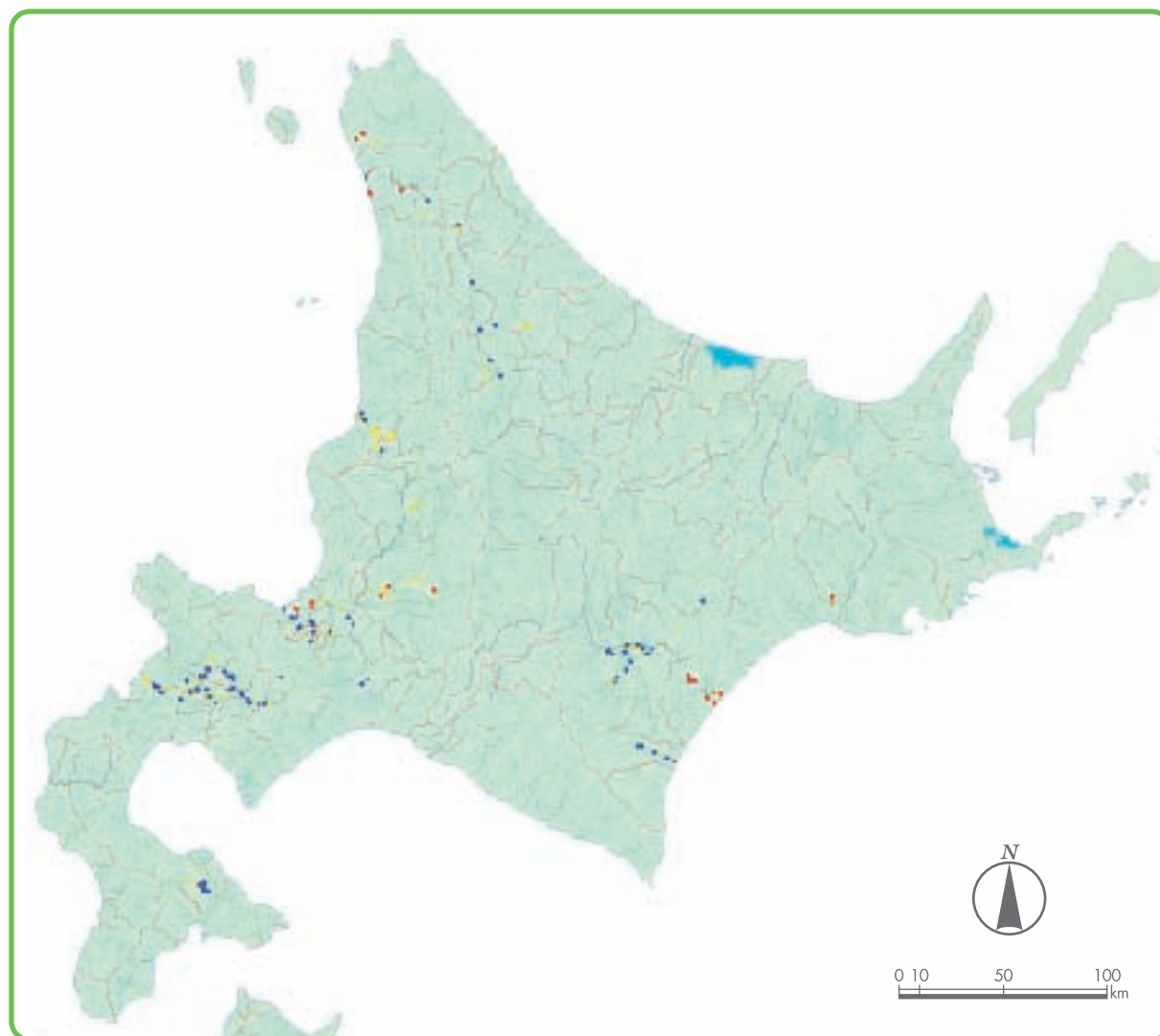


調査地点数と結果の推移



IV 各ブロックでの調査結果

北海道地方

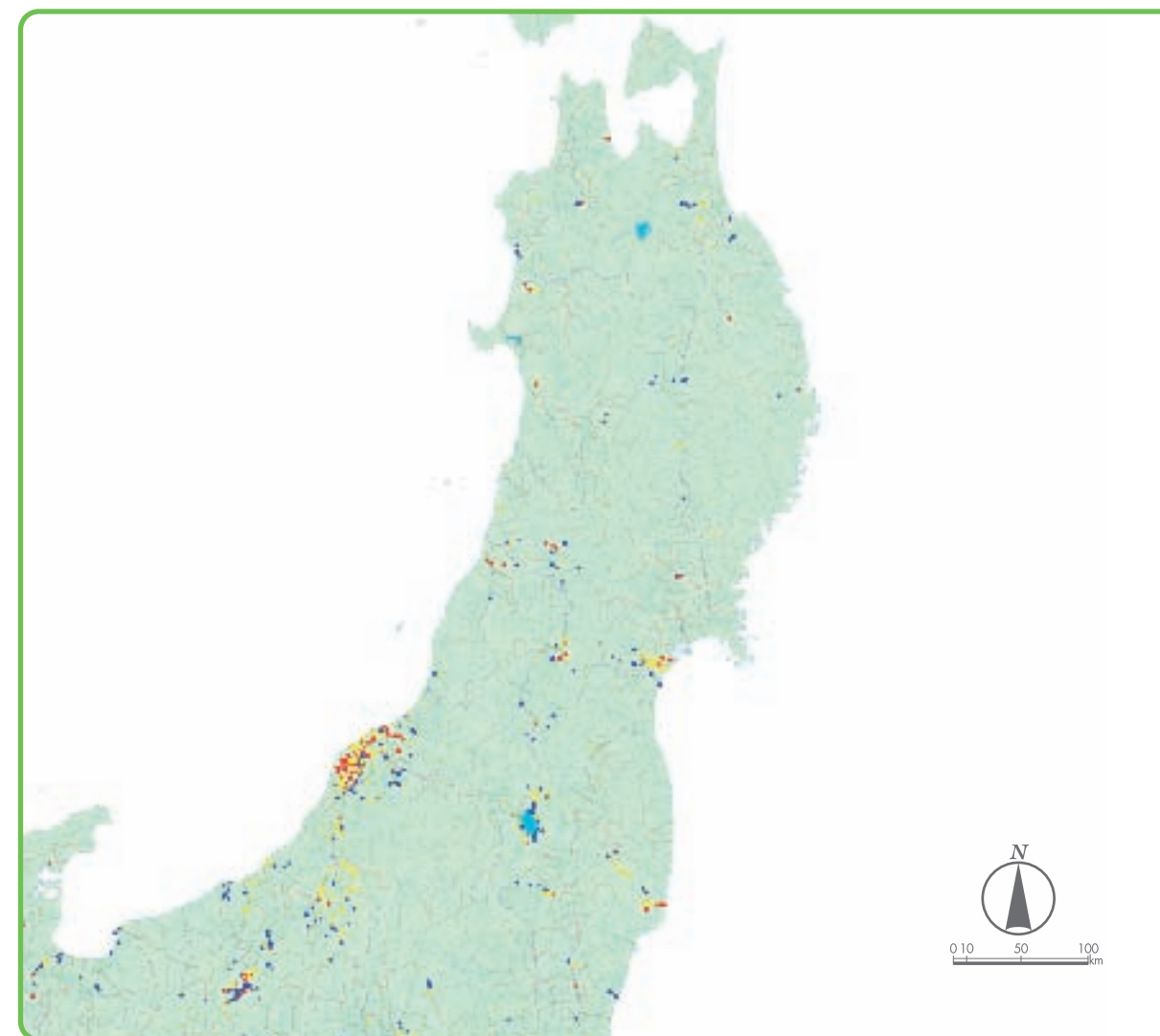


参加者からのコメント

- ・会の清掃PRの効果によりゴミはなくなった。水質測定にあたり、町の下水終末処理場の協力を得ている。
- ・水量が大幅に減った。いわゆる保水力がなくなった。洪水のような水が一時出るが、引くのも早い。



東北地方



- 凡例
- COD 0～3mgO/L 未満
 - COD 3～6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上

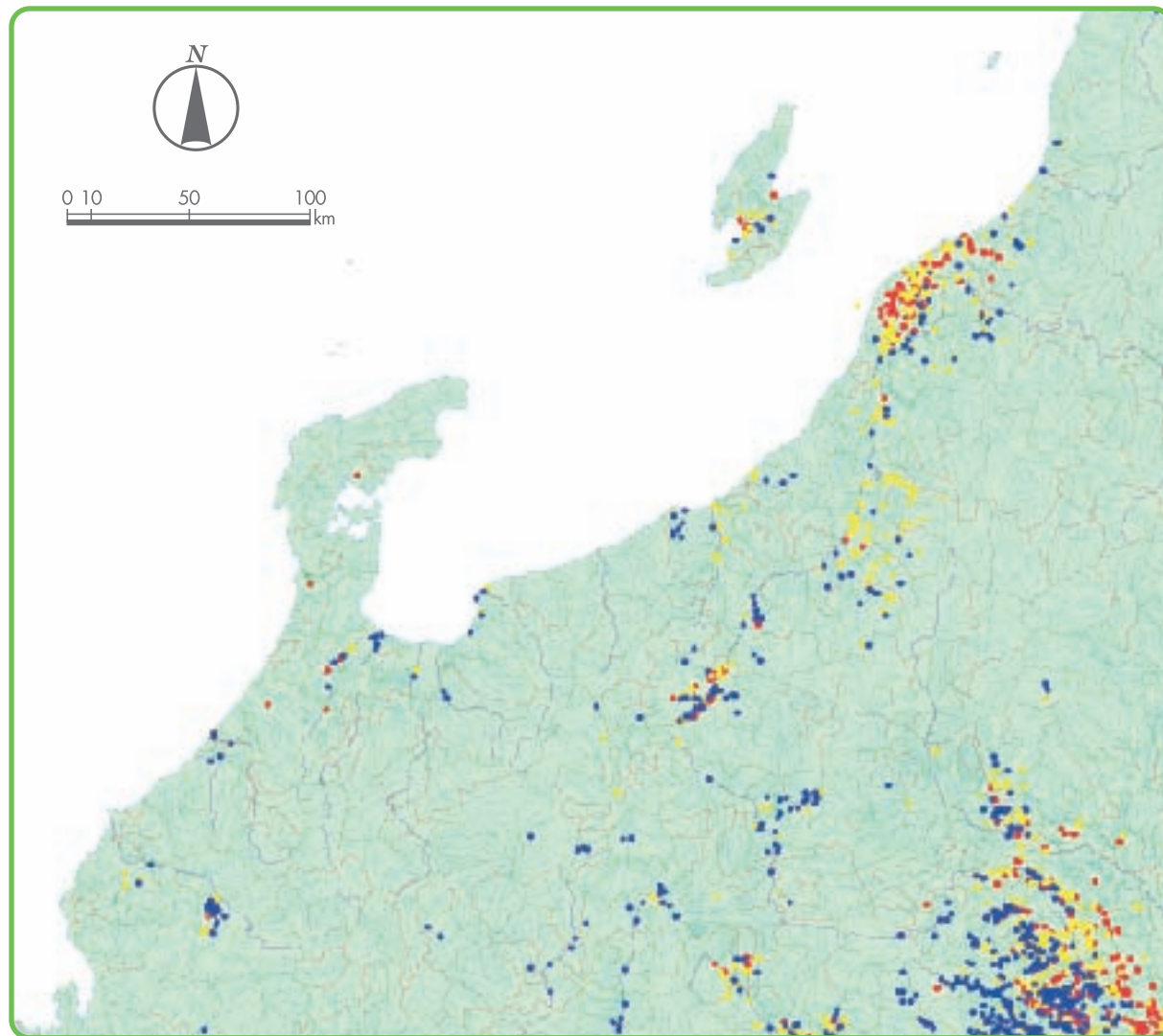
参加者からのコメント

- ・昨年津波が上がったが、以前より値が低くなっている。津波のため、砂の堆積が多い。今、近くに津波被害の堤防工事をしている。そのため、いつもより測定値が高い。
- ・子どもエコクラブが解散したのですが、これまで続けてきた各地点の変化を確かめたくて個人の形ですが実施しました。これまでほとんど状況が変わっていないので安心しております。
- ・福島県は放射能物質による汚染の影響で自然観察、測定に児童の参加を呼び掛けることに躊躇する。



IV 各ブロックでの調査結果

北陸地方

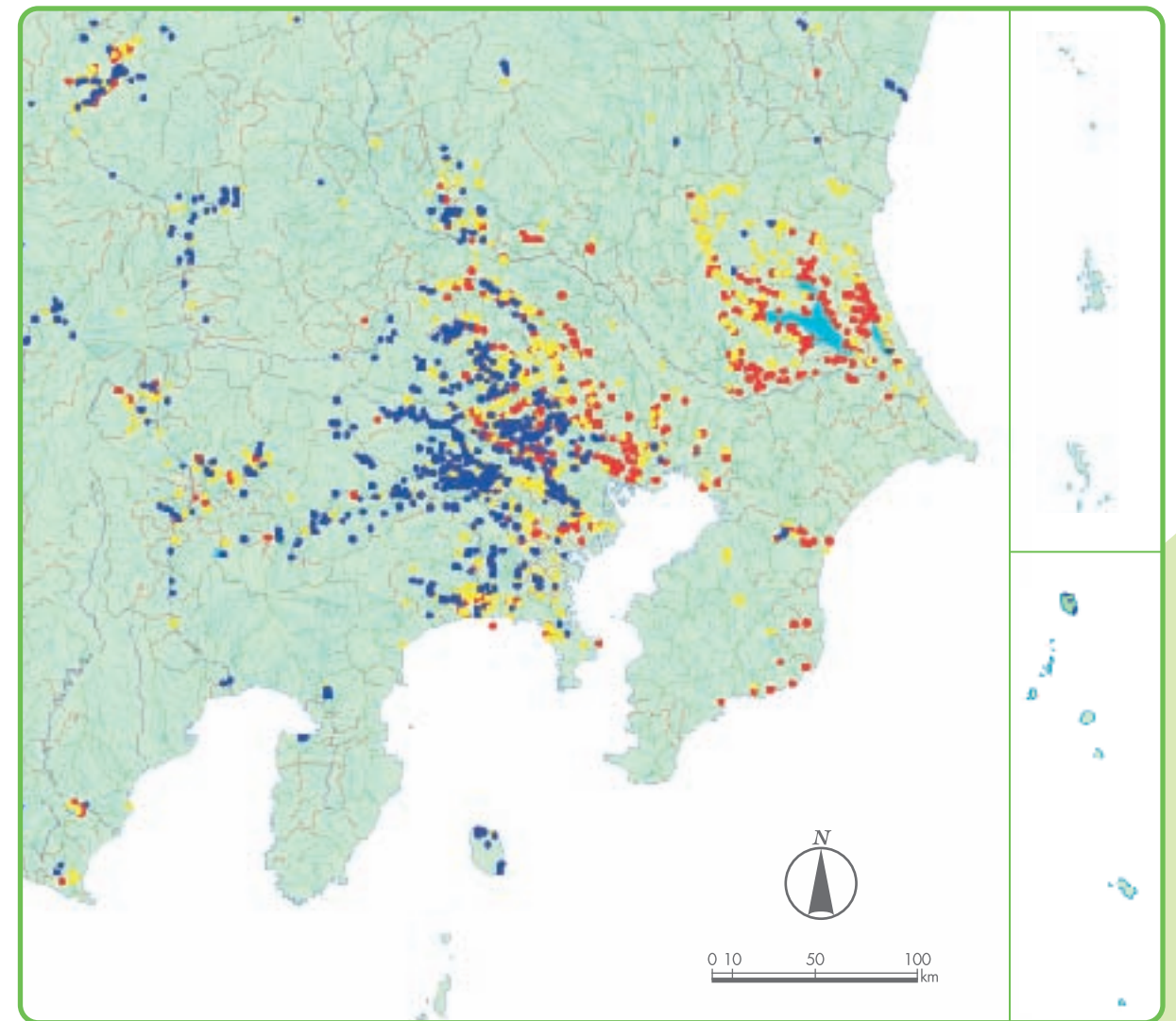


参加者からのコメント

- ・川は浅い。流れはおだやか。川底はすけてみえるが、2年前に比べると、すこしにごっている。
- ・毎年6月の恒例行事として実施している。
- ・初めてのトライアルで調査の内容 場所に不備があるとは思いますがご確認ください。



関東地方



- 凡 例
- COD 0～3mgO/L 未満
 - COD 3～6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上

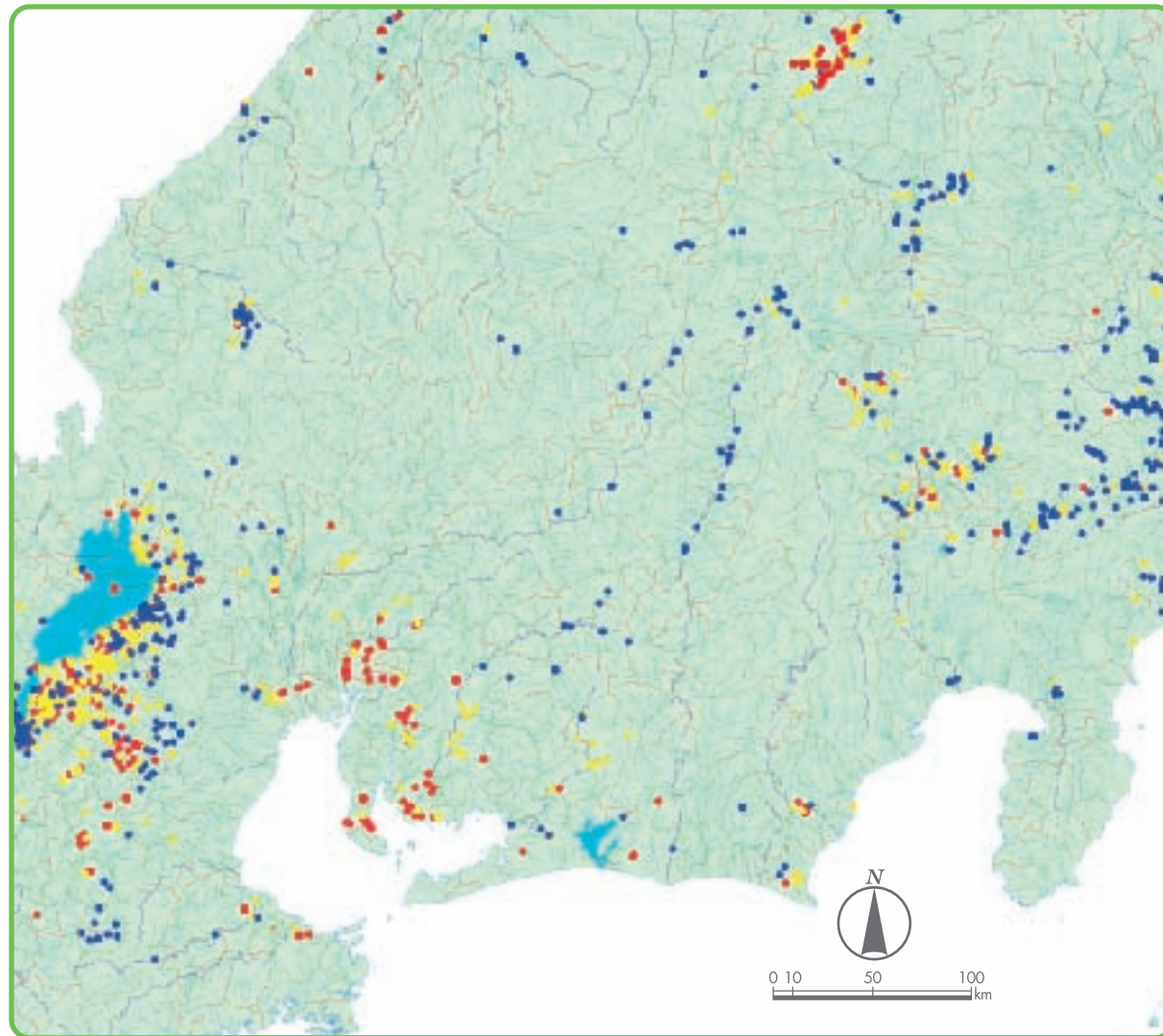
参加者からのコメント

- ・今年は初めて家族(両親)が調査に参加してくれました。
- ・データが集まってきたので事象が傾向としてみられるようになってきました。川の流域で河川工事があり、しばらく測定を中断しましたが、その影響など興味深くデータを分析致します。
- ・全国で一斉に調査しているのかな？と思うと日頃の孤独な？作業も楽しく行うことが出来ました。みんなの調査結果楽しみです。
- ・3人の娘とその時のお友達と調査を続けてきました。子どもたちは中学校に入学すると忙しく、環境活動できなくなっていました。今年はちょうど主人も時間ができて初めて一緒に出かけました。主人の歩いたことのない「けもの道」や「竹藪」など子どもに案内されて楽しく参加できました。ありがとうございました。



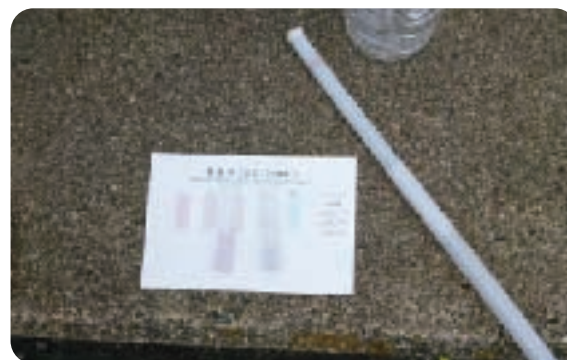
IV 各ブロックでの調査結果

中部地方

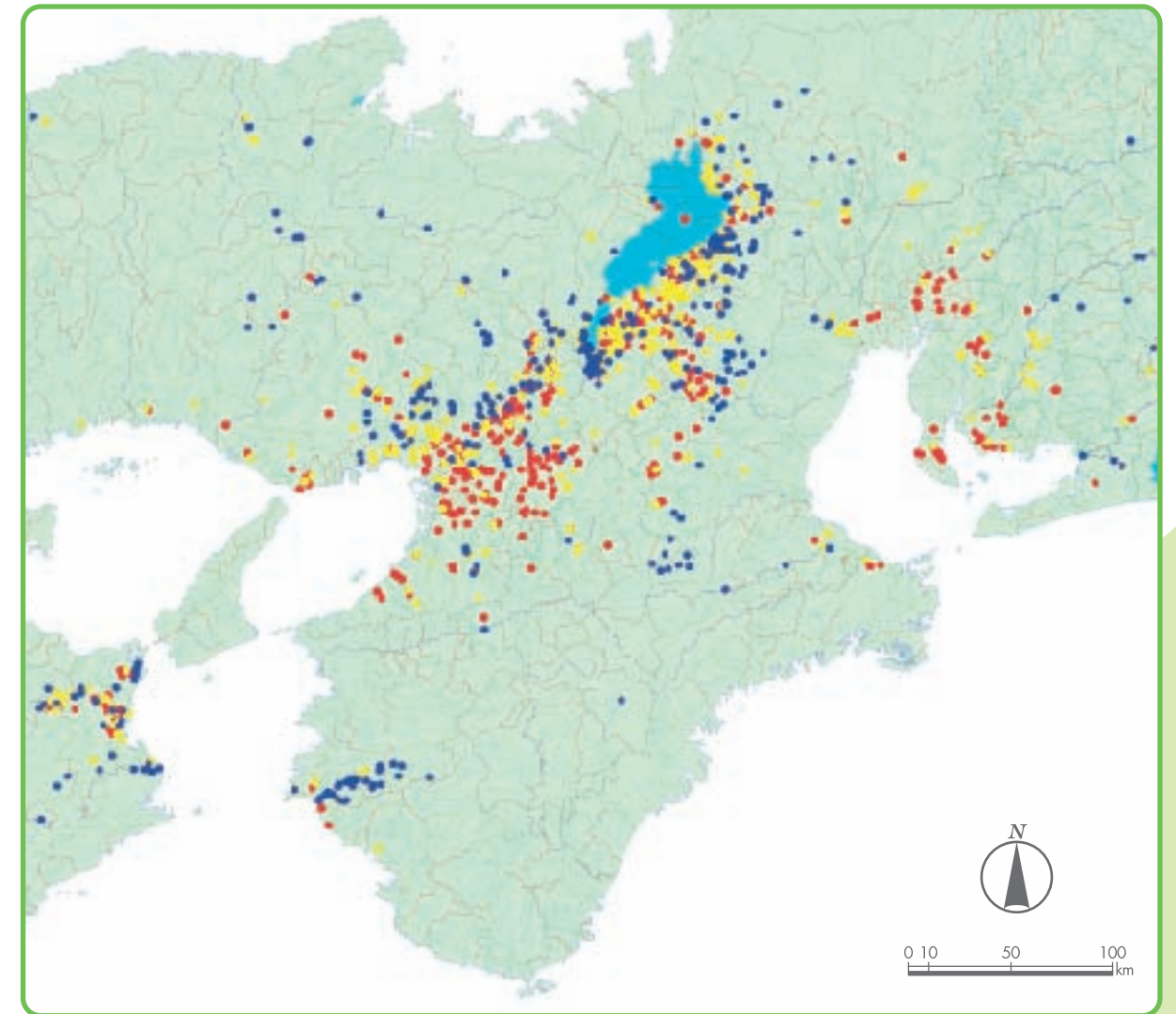


参加者からのコメント

- ・昔に比べれば見た目には川の水がきれいになっているように見えるが調べてみると結構汚れていた。
- ・4月に訪れた時は豊富に流れ出ていた水が、今回はわずかであった。大きな流量変化。
- ・毎年、普段見ることができない生き物に出会い楽しいです。
- ・身近な水環境の全国一斉調査は今年初めて参加したが、ホタルenjヤー、全国水生生物調査の活動は毎年行い、その際水質調査もやっています。
- ・ポリピペットと専用カップを使用しての調査は初めてでしたが小4の子どもでも試水を全量入れることができました。「バックンはすごい」と子どもたちに好評でした。



近畿地方



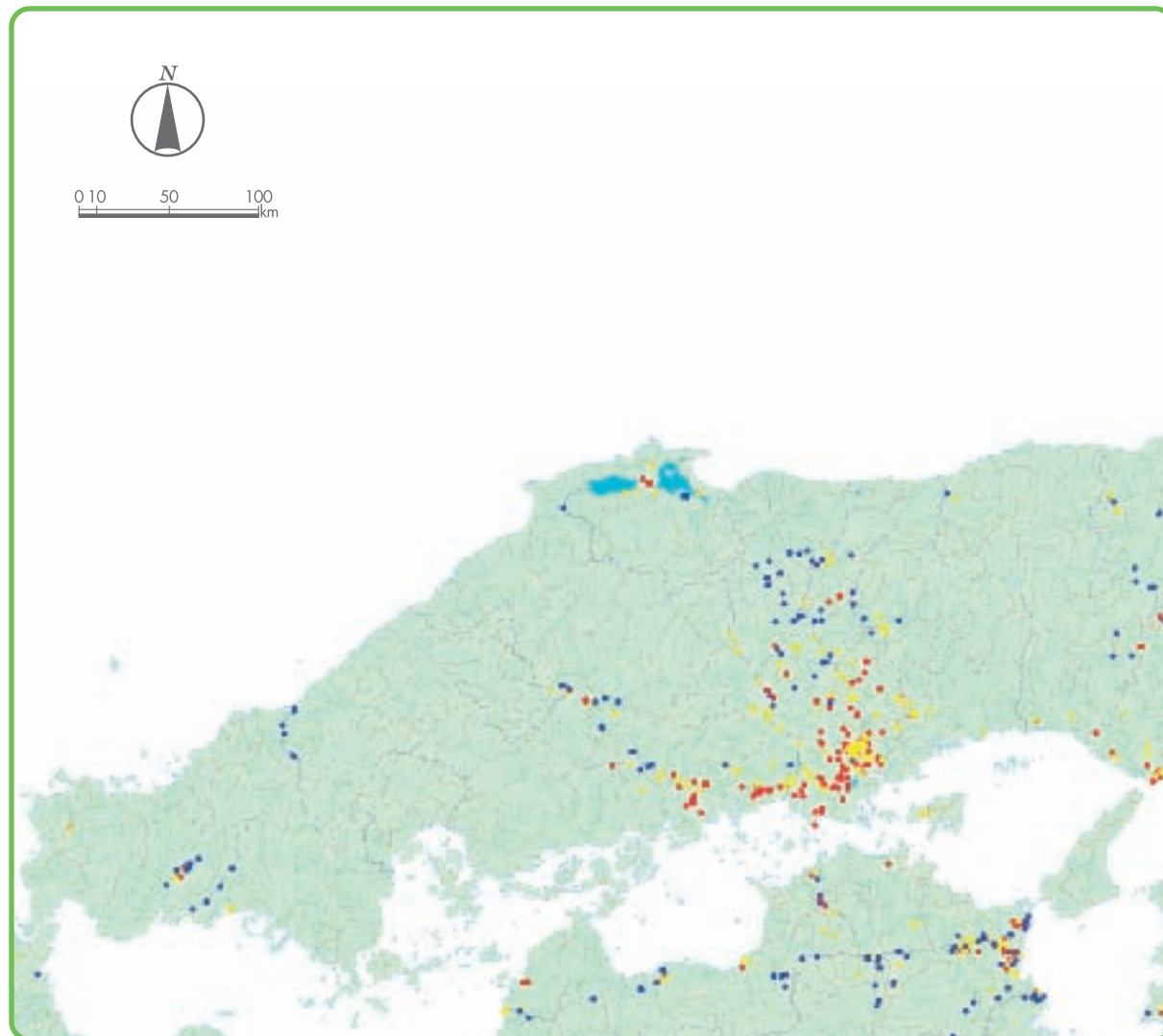
参加者からのコメント

- ・既に8年間継続して調査している河川23地点のCOD値の傾向がおおよそ把握できている。
- ・20年以上調査しているが、メダカがすむようになったのは10年前くらいかな。
- ・一斉調査を続けてきましたが、今回初めて、ミニ川教室を兼ねてバックテストを行いました。投網体験ではアユ、イナ、ボラ、ハゼなど多数入りました。確認後子どもたちが手袋をはめて放流しました。魚たちは元気に戻りました。環境の悪い中、けなげに遡上するアユさんに思わず皆で「ガンバ」でした。
- ・水辺にゴミがあり、終了後に掃除をしました。危険な鉄の棒が3本ほどあったのを河川事務所が事前に撤去され、安心して活動できました。



IV 各ブロックでの調査結果

中国地方

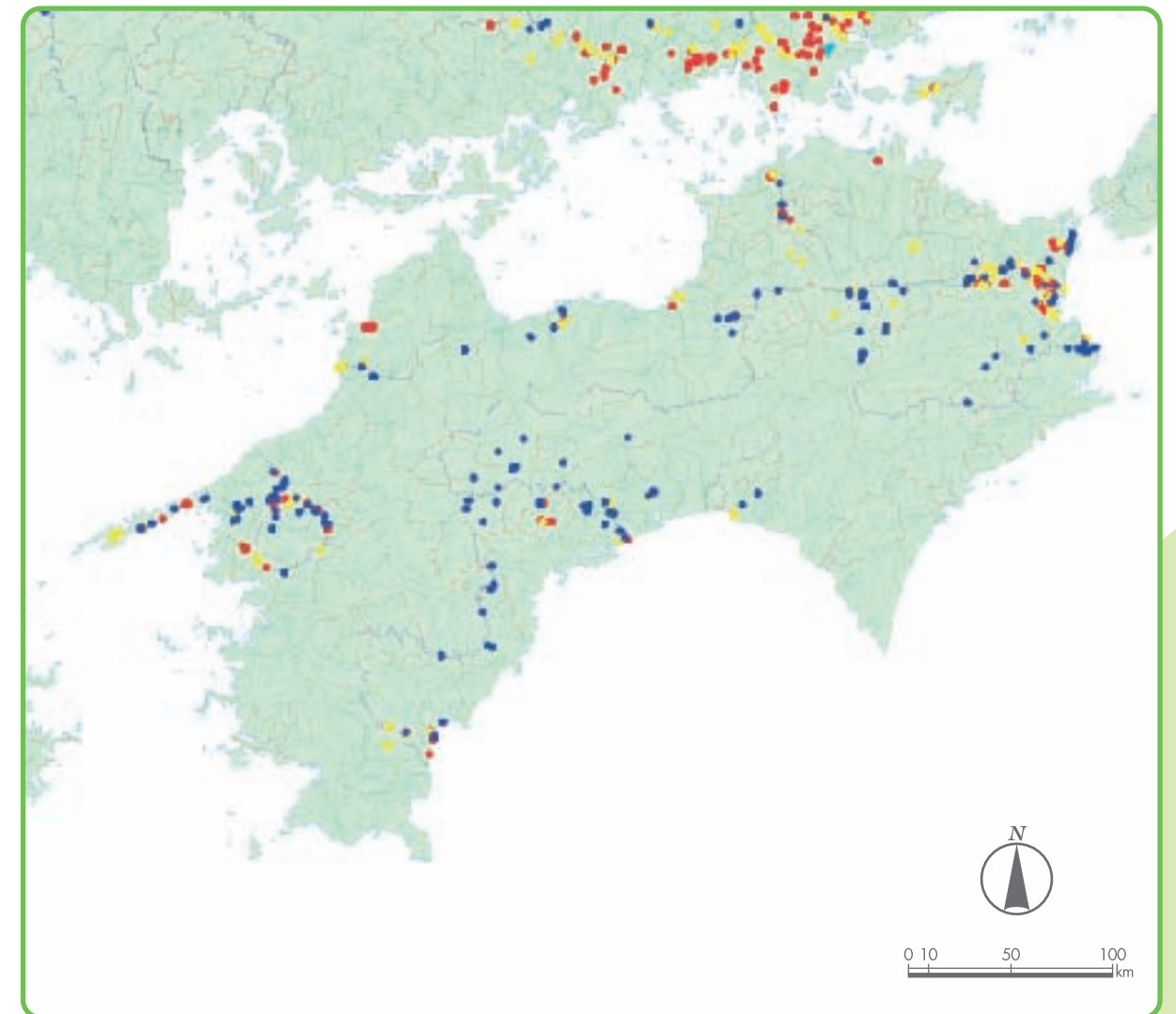


参加者からのコメント

- ・当団体は、多数の市民団体等によって構成されたネットワーク団体です。今回の調査も、加盟団体が個々の団体の枠を越え、一体となって取り組みました。数十団体がメインで行い、このほかに、関係する各公民館なども加わって調査しています。
- ・今は家庭ごみ、粗大ごみが多くみられる。昔(30年前) ゴミはあったが、生き物、植物が豊富でした。
- ・地域の人たちの管理が行き届いていると思われるが散乱ごみ等は見かけません。



四国地方



凡例

- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
- COD 3 ~ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

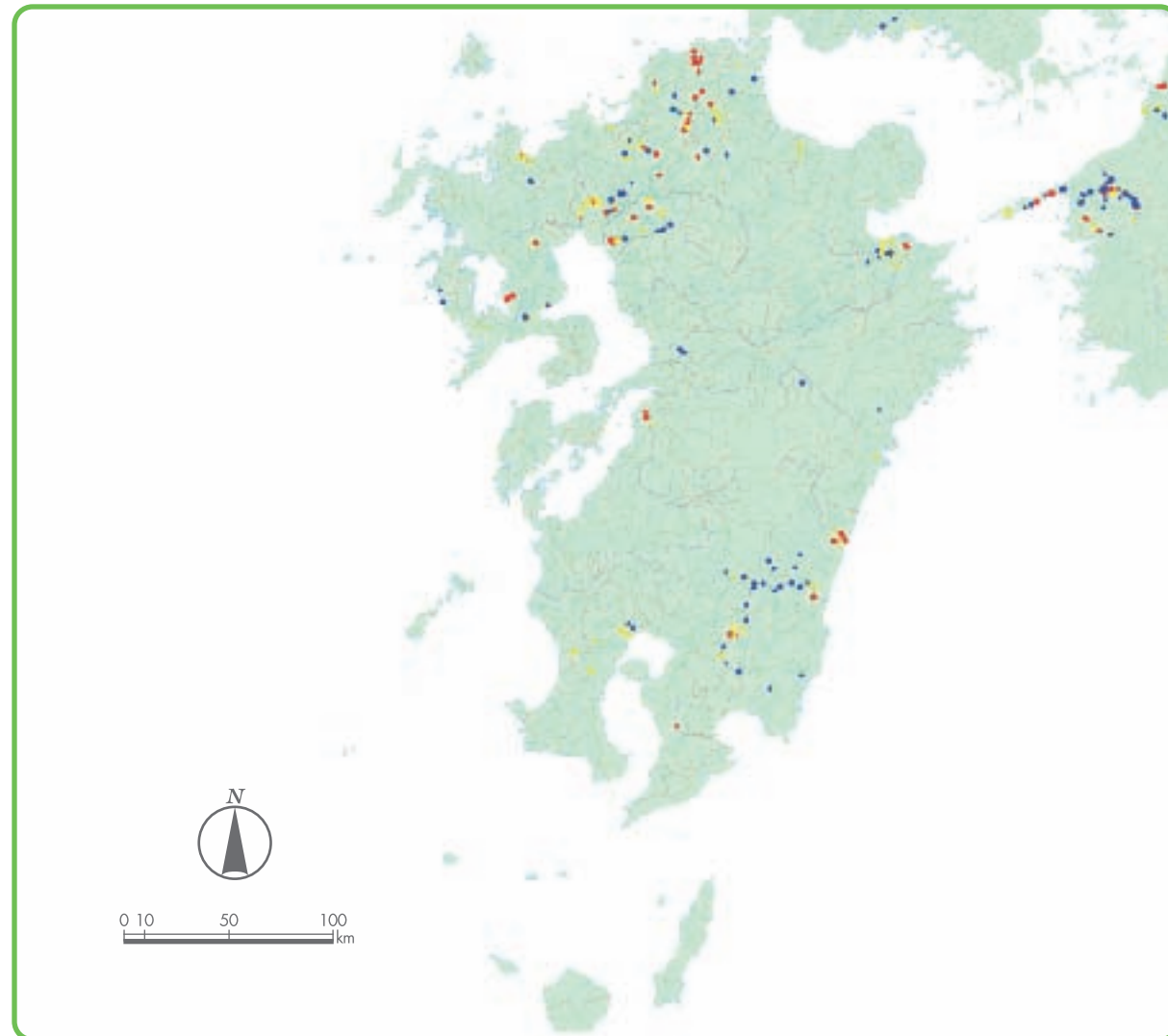
参加者からのコメント

- ・昨年から増水が余りなく、河川水量は少し少なめ。
- ・調査地点の水は澄んでいて水深のあるところでも川底がはっきりと見えた。中央構造線の断層がはっきりわかる地点でもあり、その地点の南北で石の種類が違っていたことが子どもたちの興味を引いていた。川原、川底ともに大小様々な石があり、草等はなかった。



IV 各ブロックでの調査結果

九州地方



参加者からのコメント

- ・実態が把握できて良かった。参加者の水質改善への意識が高まった。
- ・今年はいつもより希望者が多く、定員20名のところ21名もの参加者が集まりました。皆の関心が高まっていると感じました。特に川河口が工事改修後、きれいになり、魚類も豊かで子どもたちが大喜びしていました。
- ・水辺を豊かにする活動が、いよいよ定着してきました。県も「水辺の環境づくり」をめざし、現地の状況を踏まえ工事方法を策定、計画的に着実に実施されています。
- ・今年で8年目の参加です。調査前に雨が少なかったためか、今年の川にはたくさんの魚（ドンボ）がいました。しかし、少雨のため川上流では水が枯れていて採水できずに残念でした。6月3日の後日曜日にもチャレンジを予定していましたが、台風や大雨で水量が増し、あきらめました。夏に同じ川で水生生物の調査を予定しています。生きものに会えたのがうれしかったです。



沖縄地方

- 凡 例
- COD 0～3mgO/L 未満
 - COD 3～6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

- ・初めて参加させていただきました。今後も参加していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
- ・ここ3年ほどは、7・8の値だったのが、今年は1・2になり、雨で浄化されているせいかもしれないが、みんなで喜んだ。ということは、雨が重要な役目をしているのだ、と。でも、もし来年雨が降らなくても2とかならうれしい。



V 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例

「夏井川流域一斉水質調査」

夏井川流域の会

夏井川は、福島県の阿武隈高地を水源とし、田村市・小野町・いわき市を流下し太平洋に注ぐ二級河川で、流域内にはおよそ 15 万人が暮らしています。

「夏井川流域の会」は流域内各地区で活動する団体が呼びかけ、行政と連携し平成 18 年に「森・川・海笑顔が見える流域を！」をキャッチフレーズに発足しました。

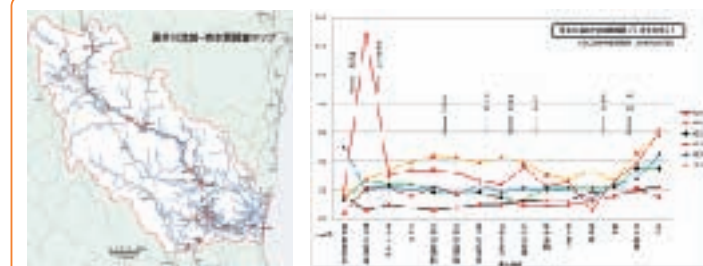
主な活動として「夏井川流域一斉水質調査」をはじめ、問題意識の共有の場・情報交換の場としての「川ばた会議」や川の流れ・川の水面の視点を体感するための「夏井川サイクリング」「水との旅」などを実施しています。

「夏井川流域一斉水質調査」は平成 19 年より毎年 6 月の全国一斉水質調査の日に合わせて実施しており、チラシなどで参加者を募り、子供達を含む一般市民（今年の参加者は約 80 人）により同日の同時刻に本川・支川合わせて 27 地点で一斉に採水し調査を行い、また、代表地点では水生生物調査を行っています。さらに精度を高めるため福島高専の協力を頂き、公定法による試験（COD、BOD、SS）も実施し、参加者以外にも地区懇談会などの機会にも結果を公表しています。

今年は川砂の放射性物質の検査も併せて実施しましたが、数値は高くないもののやはり水際の砂・土砂にはまだ若干残留しているようです。（水・川底の砂は不検出でした）

毎年流域内各地域の方々には好評を得ており、特に子供たちは川に入れるのを楽しみにしている様子が伺え、単に環境教育の場のみならず情操教育の一環にも繋がるのかと感じています。

今後も水質調査をはじめ、様々な活動やイベントを通じて地域の方々とふれあい、川や身近な水環境を知って頂くよう継続していきたいと考えております。



夏井川流域一斉水質調査



活用事例

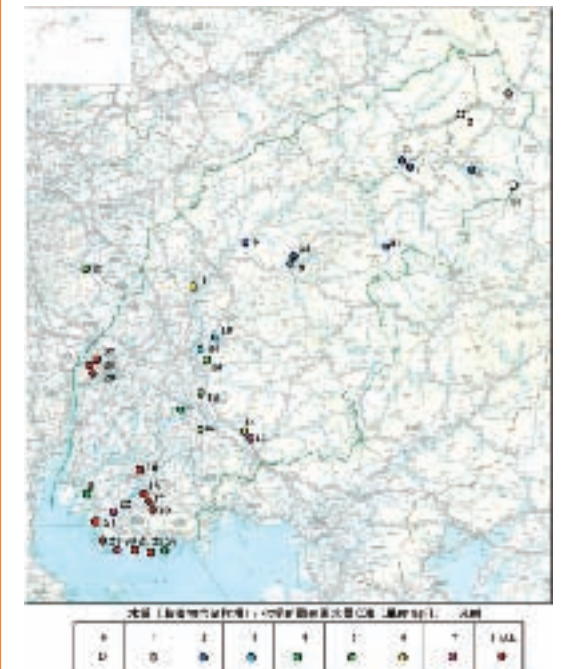
「矢作川水系一斉水質調査」

～流域圏の水環境の現状把握と活動視野拡大に役～

矢作川環境技術研究会



矢作川水系水環境マップ 2012.6.3

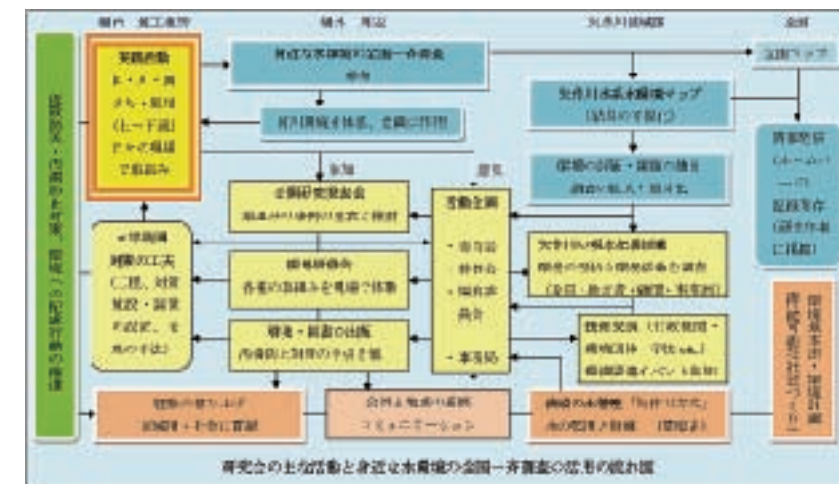


矢作川は、中央アルプス南端の山岳に源を発し、三河山地、西三河平野を経て三河湾に注ぐ、本川流路延長 117km、わが国では中規模の河川です。この流域圏には、長野県 2 村・岐阜県 1 市・愛知県 11 市町が含まれ、人口 157 万余人が生活しています（2012 年）。また三河湾は本邦有数の沿岸漁場を維持し、愛知県のアサリ漁獲量は全国 1 位のシェアを占めています。

本研究会は、矢作川流域に流域管理手法として「矢作川方式」が定着し、建設工事において仮設防災など環境保全に配慮する施工技術が不可欠なことから、理念の普及と施工を支援する環境技術の体系化を図ることを目的に、1986（昭和 61）年から活動を続けています。本研究会は、国土交通省豊橋河川事務所の案内を契機に第 6 回一斉調査から参加しています。最初は矢作川水系 22 地点で行ない、長野県市民グループとの交流も芽生えました。第 9 回は会員の協力で 35 地点で行ないました。毎回の結果は矢作川水系水環境マップに表し、本研究会のホームページ（<http://www.yakanken.jp/>）上で公表したり、調査記録を研究年報「水は生きている」に掲載して配布したりするなど、情報共有とデータ保存を図っています。矢作川水系は上流部が殆ど清冽で、本川下流まで清流がほぼ保たれています。中・下流の支川で有機汚濁がやや増え、下流部や三河湾沿岸は汚濁度が所々異なっています。

調べて「そうか！」となすくだけでは汚濁した水域の環境改善にはなりません。また降雨時は桁違いの膨大な濁質が流れます。川は生きもので常に非ずということを認識することも次のステップです。一斉調査によって流域の水質動態を視覚化して比較でき、参加して得られた結果を今後の活動に有効に繋げることができます。会員の視野や意識も日々の

活動場所から流域に広がり、活動企画でも調査の拡大や教材化に発展しています（左図水色部分）。今年度は現地研修会（環境保全対策を観て学ぶ）に COD 測定法等の実習も取り入れてみました。このように身近な環境の全国一斉調査への参加と結果は、本研究会の活動企画にも有効活用させて頂いています。



VI 継続調査参加団体

皆勤賞

9年参加(結果提出)団体 (合計100団体)							
北海道	NPO法人十勝多自然ネット	埼玉県	不老川流域川づくり市民の会	東京都	八王子市北部環境保全推進地区市民会議	新潟県	NPO法人新潟水辺の会
青森県	南部ふるさとの川連携協議会	埼玉県	環境白門会	東京都	個人参加	新潟県	NPO法人ねっとわーく福島潟
青森県	八戸市立島守中学校	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	日野市消費者運動連絡会	福井県	大野の水環境ネットワーク
宮城県	NPO法人宮城県河川環境研究会	東京都	川づくり清瀬の会	東京都	八王子西南地区環境市民会議	山梨県	Yamanashiみずネット
宮城県	自然塾カワセミクラブ	埼玉県	生活クラブ生協所沢南支部	東京都	東京都山岳連盟自然保護委員会	山梨県	甲府市宝二丁目第三自治会
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	埼玉県	生活クラブ生協所沢北支部	東京都	東京NPO-21研究所	山梨県	三井(深沢)ファミリー
茨城県	(社)霞ヶ浦市民協会	埼玉県	NPO法人 エコシティ志木	東京都	エコネット町田	山梨県	櫛形明日の環境を考える会
茨城県	石岡市	埼玉県	所沢源流の会	東京都	はむら水と緑の会	山梨県	大泉・水と緑を守る会
茨城県	牛久市	東京都	白子川源流・水辺の会	東京都	環境・国際研究会	山梨県	風間・澁澤グループ
茨城県	つくば市	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	玉川上水ネット	山梨県	メダカクラブ
茨城県	鹿嶋市	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会	東京都	府中かんきょう市民の会	長野県	諏訪湖クラブ
茨城県	かすみがうら市	東京都	西東京生活者ネットワーク	東京都	あおばく・川を楽しむ会	静岡県	三島ゆうすい会
茨城県	茨城町家庭排水協議会	東京都	自由学園	東京都	国分すみずっこクラブ	静岡県	浜岡自然愛好会
茨城県	小美玉市	埼玉県	ぶじみ環境クラブ	東京都	AMR	愛知県	庄内川松並木つくり隊
茨城県	笠間市岩間支所地域課	埼玉県	明法中学校・高校	東京都	東京環境工科専門学校 増穂班・増穂小	愛知県	大山川を愛する市民の会
茨城県	鉾田市	埼玉県	水川を愛する会	東京都	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	滋賀県	NPO法人びわこ豊穂の郷
茨城県	神栖市	埼玉県	NPO法人 荒川流域ネットワーク	東京都	あらかわエコフレンド	京都府	京都生協相楽行政区環境委員会
茨城県	行方市	東京都	浅川流域市民フォーラム	東京都	足立区荒川ビジターセンター	大阪府	(財)琵琶湖・淀川水質保全機構
茨城県	美浦村	東京都	八王子ランドマーク研究会	東京都	林・宮島ファミリーズ	岡山県	旭川流域ネットワーク
茨城県	河内町	東京都	八王子中央地区環境市民会議	東京都	いたばし野鳥クラブ	山口県	山口市立白石中学校
茨城県	利根町	東京都	谷地川探検隊	東京都	北区水辺の会	徳島県	徳島市市民環境部環境保全課
埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	八王子に清流を取り戻す市民の会	東京都	秋が瀬にワンドを作る会	徳島県	ガールスカウト徳島第9団
埼玉県	武蔵村山市環境を考える市民の会	東京都	日野市環境共生部 緑と清流課	神奈川県	東京都市大学 小堀・成研究室	徳島県	ガールスカウト徳島第7団
東京都	武蔵留米ホテルを呼ぶもどす会	東京都	八王子市東南部環境市民の会	神奈川県	まちファーストの会	高知県	NPO法人仁淀川お宝探偵団
埼玉県	新庄の自然と暮らしを守る市民の会	東京都	程久保川を考える会	神奈川県	鶴見川・水質チーム	沖縄県	リュウキュウアユを蘇生させる会

5年以上参加団体 (9年参加団体を除く)									
北海道	帯広稲田学園遊びの会	茨城県	潮来市	埼玉県	東洋大学	東京都	へそがむ自然教室へみすとみどりの寺子屋	富山県	個人参加
北海道	留萌川を楽しむ会	茨城県	稲敷市	埼玉県	小嶋の会	東京都	あらかわズガキ隊	富山県	小矢部川に学ぶ会
北海道	たなか川環境フォーラム	茨城県	稲敷市	埼玉県	さやま環境市民ネットワーク	東京都	大曽根の遊歩帯ビオトープを守る会	富山県	あすはく地域学芸員
北海道	こどもエコクラブしるし JEC	茨城県	阿見町東庭緑水浄化推進協議会	埼玉県	白岡町観光協会水辺の親会	東京都	江戸・生活者ネットワーク	富山県	常磐川の清流に流れて愛する会
北海道	NPO法人天狐川リバーネット21	茨城県	利根市	埼玉県	越中川重富エコクラブ JEC	東京都	江川生活者ネットワーク	石川県	こどもエコクラブどおり JEC
北海道	NPO法人天狐川リバーネット21自然育支所	茨城県	上野市	埼玉県	鶴ヶ島市かみゆなび児童エコクラブ JEC	東京都	いたし水辺を創る会	石川県	穴水児童館
北海道	NPO法人天狐川リバーネット21土別支部	茨城県	茨城県立日立第一高等学校・附属中学校	埼玉県	ガールズクラブ・埼玉第59団 JEC	東京都	川口市立西中学校 科学部	石川県	柳川協議会
北海道	NPO法人天狐川リバーネット21下川支部	茨城県	茨城県東金岡コミュニティ	埼玉県	御所川児童館エコクラブ JEC	東京都	沼江水辺の学校	石川県	「自然自楽クラブ」
北海道	富岡町役場総務課	茨城県	ヤッポーおひさまクラブ JEC	埼玉県	小川町児童館 JEC	東京都	FAMS	石川県	NPOナガバ・ヘレティッククラブ石川県支部
北海道	光と光研研習会	茨城県	大子町の会	千葉県	かみゆなびスズクラブ	東京都	江東自転車エコライの会	山梨県	アスー
北海道	NPO法人北海道水気候研究所	栃木県	野木山憩会 自然保護課 水質調査G	千葉県	環境協議会あみあしと21	東京都	鉤川市環境を考える会	山梨県	山梨県環境科学野生センター
北海道	環境クワイエ(株)	栃木県	八幡町エコ研 JEC	千葉県	たんぽぽ JEC	東京都	身近な川の一斉調査実行委員会	山梨県	市川三郷町小杉生保会
北海道	豊後別荘をよくする市民の会	群馬県	ヤマクラブ JEC	千葉県	ガールズクラブ千葉第27団	東京都	小金井川ー野川研究会	山梨県	秋月ファミリー
北海道	利根別荘をきれいにする市民の会	群馬県	沼城を考える市民会議	千葉県	自然観察会あみあし JEC	東京都	森保ビオトープ	山梨県	越後川協議会
北海道	十勝川のシンガモを守る会	群馬県	川と親しむ会	千葉県	ハマビルガの会	東京都	美しい多摩川フォーラム	山梨県	美鈴会野合
青森県	八戸市立白山小学校	群馬県	NPO法人新田環境みらいの会	東京都	北川つばの会	東京都	エコビオパーク	山梨県	塩山高校科学部
青森県	南部町立福地小学校	埼玉県	白子川と流域の水環境をよくする会	東京都	東久留米はこだてじょうを守る会	東京都	NPO法人江戸川緑のルネサンス	山梨県	塩尻小
青森県	五戸町立中央小学校	埼玉県	かわえ環境ネット 新河川水系グループ	東京都	NPO法人 空堀川に清流を取り戻す会	神奈川県	桂川・相模川流域協議会	山梨県	まちくち時整登
青森県	HEP21エコクラブ JEC	埼玉県	生活クラブ生協茨城山支部	東京都	空堀川を考える会 AEG	神奈川県	早瀬川ファンクラブ	山梨県	つづみ沼原リバー膝
岩手県	野沢自然クラブ	埼玉県	川越流域ネットワーク	東京都	東京都自然をよめる会	神奈川県	美しき緑を守 依知南 環境ついで JEC	山梨県	富士山ファンクラブ・南部地区
岩手県	九戸村立江利家小学校	埼玉県	朝瀬川をいれたいする会	東京都	北多摩自然環境協議会	神奈川県	二子川水辺ウォッチャーズフォーラム	山梨県	富士山ファンクラブ・古巣地区
岩手県	ボーイスカウト岩手県岩手千歳第1団 JEC	埼玉県	黒川川に親しむ会	東京都	城北公園・四季の会	神奈川県	湯沢水邊 関東地方整備局 沢浜川事務所	山梨県	富士山ファンクラブ・磐前地区
岩手県	磐石児童館エコクラブ・ワークベンチ JEC	埼玉県	生活クラブ生協朝霞支所	東京都	多摩市水辺の楽校	神奈川県	まいおか水と自然の会	山梨県	田代生物化学所
岩手県	紫波町立佐佐木小学校	埼玉県	大宮川愛護会	東京都	大宮川愛護会	東京都	川崎市を美しとる会 自然観察部会	山梨県	宮田川水浄化センター
岩手県	はまぐちエコクラブ	埼玉県	三貫清水の会	東京都	八王子市由木地区環境市民会議	神奈川県	横浜緑研SL研 JEC	山梨県	万代川・松森保存会
岩手県	大深沢水辺委員会	埼玉県	生活クラブ生協上牧支部	東京都	川辺茂徳水辺の楽校	神奈川県	オニエンクラブ JEC	山梨県	甲州スポーツ倶楽部
宮城県	水環境ネット石巻	埼玉県	青川をきれいにする会	東京都	さくしおびけエコミュージアム	神奈川県	神奈川県山田自然遊覧自然保護委員会	山梨県	あみすし
宮城県	みやぎ生活環境同盟会	埼玉県	霞川こどもエコクラブくわく	東京都	KiesKokoi	神奈川県	NPO環境フミミー山	山梨県	富士山ファンクラブ・穂城地区
宮城県	仙台市ライズネット塩田川	埼玉県	湖東の環境を考える会	東京都	湖川勉強会	神奈川県	NPO法人 藤沢フリースタッフの会	山梨県	小松ファミリー
宮城県	宮崎のみやぎ環境とエネルギーMELON 水巻会	埼玉県	加治川への楽校	東京都	緑 SRI 連合体「染色体解析センター」	神奈川県	川辺川流域まちあわせ	山梨県	八ヶ野島クラブ
宮城県	水の森公園に親しむ会	埼玉県	加治・美杉まちづくり推進委員会	東京都	高尾・浅川の自然を守る会	新潟県	燕市子ども体験活動支援センター	山梨県	計画課チーム
秋田県	マツスリ川と東北秋田イオンテアーズクラブ	埼玉県	江戸川大川	東京都	八王子市西部地区環境市民会議「元八地区」	新潟県	市井ボーイスカウト連合 新潟第16団	長野県	下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
秋田県	能代市こども環境探偵団	埼玉県	さいたま市の博物館ボランティアの会	東京都	八王子東部地区環境市民会議	新潟県	日本赤十字社水気 資源エネルギー環境研究室	長野県	千曲川水生態学研究会
山形県	山形県農工商連合会A組	埼玉県	もりとど	東京都	せたがや川の会	新潟県	NPO法人五葉アクトの会	長野県	飯水自然調査研究委員会
山形県	株式会社ナトリス	埼玉県	さいたま市リバーキープーズ	東京都	東京都環境組合	新潟県	NPO法人川辺水辺クラブ	長野県	軽井沢こどもいん
山形県	日本大学山形高等学校	埼玉県	NPO法人荒川の自然を守る会	東京都	一般社団法人 全日本下水道コンサルタント協会	新潟県	新潟県ビオトープ管理士会	長野県	ecobioパーク
山形県	株式会社山形研分センター	埼玉県	高麗川ふるさととの会	東京都	福生水辺の環境改善協議会	新潟県	佐渡環境ネットワーク	岐阜県	NPO法人長川環境レジャー協会
山形県	エコの会	埼玉県	生活クラブ生協山田支部	東京都	アースクラブ	新潟県	さいの川クラブ	岐阜県	木門川いそぎプロジェクト
山形県	長井市レインボープラン推進協議会	埼玉県	生活クラブ環境高田支部	東京都	株式会社 アイエム・エー	新潟県	こどもエコクラブ おしほくもいそぎ JEC	岐阜県	NPO法人飛騨小川第200巻
山形県	アソビ堂とカガキ姉の愛護会	埼玉県	自然を守る緑山ライカルの会	東京都	あきさま水辺			静岡県	ガールズクラブ静岡第24団
山形県	日本環境科学株式会社	埼玉県	かわえ環境ネット	東京都	井の頭・神田川を守る会	新潟県	能代市リハコム増殖組合	静岡県	しまだ環境ひろば
山形県	新婦人(にこめ)	東京都	水の憩想会	東京都	水の憩想会	新潟県	特定野営活動法人加治川ネット21	愛知県	瀬戸サンショウクラブを愛する会
山形県	日本大学山形高等学校	東京都	市野川エコクラブ	東京都	神田川ネットワーク	新潟県	緑川を守る会	愛知県	NPO法人 環境研究グループ
山形県	三重市生活環境課	東京都	秋友の環境を考える会	東京都	臨島環境推進会の会	新潟県	新潟県西蒲原土改良区	愛知県	木曾三小・自然再生グループ
山形県	岩井沢	東京都	鶴ヶ島市の自然を守る会	東京都	にら・水と緑を守る会	新潟県	小阿賀東来会の会	愛知県	あしくらぶ JEC
山形県	戸辺で遊べわかしこ広場整備促進協議会	東京都	五王大学地球環境科学部	東京都	鶴川を豊かにする会	新潟県	日本ボーイスカウト新潟連盟 黒埼第一団	愛知県	おめこクラブ JEC
山形県	ボランティア・カカロ	東京都	熊谷の環境を考える連絡協議会	東京都	生態系保護協議会芦田藤支部	新潟県	越後新川まちおこしの会	愛知県	天白・川辺の楽校
福島県	夢はたここり	東京都	NPO法人エコリブ・夢企画	新潟県	NPO法人エコリブ・夢企画	新潟県	新発田川を愛する会	愛知県	たたら子とくまエコクラブ
福島県	白河くらしの会	埼玉県	NPO法人西川水保会	新潟県	稲巻区立小松南小学校	新潟県	越前川水保会	愛知県	越前川水保会
茨城県	国土交通省 霞川川事務所	埼玉県	いまいき川防犯団	東京都	尾久の憩愛クラブ	富山県	元アヅ	愛知県	小糸川河川コミュニティ推進協議会
茨城県	霞ヶ崎水産緑水浄化推進協議会	東京都	生活クラブ生協千葉支部	東京都	川田アメパークの会	東京都	緑学・るるどと探検隊	愛知県	みよこ環境 JEC

※個人の参加者は22名いらっしゃいました。

5年以上参加団体（9年参加団体を除く）									
愛知県	ボイスカウト海部第1区ボイスカウト隊 JEC	滋賀県	日野川を見守る会	奈良県	武庫川づくりと流域連携を進める会	愛媛県	大洲農業高校	佐賀県	相知支所 建設水道課
愛知県	愛知モリコロパークスエコクラブ JEC	滋賀県	八幡堤会	奈良県	ボラチータネットワーク 石津川に鮎を	愛媛県	イオン新居浜アイスクラブ JEC	佐賀県	自然と暮らしを考える研究会
愛知県	緑地・里川と生活を考える会	滋賀県	幸江土木環境自治協議会	奈良県	天理市川中町公民会	愛媛県	いもほり緑地保全のふくふくネット（愛媛県・伊予市・喜多郡等）	佐賀県	伊岐川漁業組合
三重県	富川流域ネットワーク協議会	滋賀県	環境フォーラム湖東	和歌山県	日高川水道協議会	高知県	何もない・物部川をつくる連絡会	佐賀県	蔵木水源地地域ビジョン
三重県	小井山PTA野外活動サークル JEC	滋賀県	彦根市環境保全指導員連絡協議会	和歌山県	蔵木市青少年自然水圏連絡協議会	高知県	財団法人西万十財団	佐賀県	蔵木町飲み水を大切にしよう
三重県	しぜん・ふど・ワンダーランドどもエコクラブ JEC	滋賀県	日夏エシヤークラブ	和歌山県	日高川町立丹生中学校	高知県	田子町立 中野小中学校	佐賀県	アザシの会
三重県	島員FG会	滋賀県	滋賀県自然環境保全・学習ネットワーク	鳥取県	米子市公園友の会・レジャークラブ	高知県	四万の自然と清流を守る会	佐賀県	(株)ワイビーエム
滋賀県	渥生寺環境保全部	滋賀県	柳川流域づくり（リ）フォーラム	鳥取県	NPO法人アダンダ・ゲ	高知県	御川下流の里を育てる会	佐賀県	うまづな会
滋賀県	NPO法人瀬田川リハビリ隊	滋賀県	柳川を愛する会	岡山県	吉井川建設の碑に「ごん」の会	高知県	日高川を美しくする会	佐賀県	蔵西子どもクラブ
滋賀県	野洲川に親しむ会	滋賀県	柳川を美しくする会	岡山県	大田原和会	高知県	佐賀川立尾川中学校	佐賀県	(株)コマルネット
滋賀県	湖沼環境保全協会協議会	滋賀県	大沼川を美しくする会	岡山県	きょうふうくふ	高知県	横倉山自然の森博研友の会	佐賀県	NPO法人技術交流ネットワーク
滋賀県	環境文化推進市民会議	滋賀県	相模川を愛する会	高知県	阿波ふんはーけん・はっけん	高知県	土佐市高岡地区部落会	佐賀県	松浦清流に親しむ会
滋賀県	葦津緑	滋賀県	人川を守る会	高知県	西大寺川	福岡県	FUKU水研会（財）福岡県浄水増強会	佐賀県	神埼町2丁目公民館
滋賀県	東栗東市役所生活環境課	滋賀県	大津環境学習活動実行委員会	岡山県	岡山市役所瀬戸支所	福岡県	水の水	佐賀県	大塚警察株式会社佐賀工場
滋賀県	(株)グリーンちゅず	滋賀県	長浜市びわ湖環境を守る生活推進協議会	岡山県	ことわざ JEC	福岡県	ひろやうクラブ JEC	長崎県	明川オピニオン懇話会
滋賀県	NPO法人環境を考える会	滋賀県	長浜市水生生物青少年交流支援隊	岡山県	いとつと JEC	福岡県	筑後川キッズ探検隊	長崎県	リトル・グリーンクラブ JEC
滋賀県	南部環境・総合事務所	滋賀県	北栗東小学校	岡山県	早島湖流域エコユブ	福岡県	なかつかの環境を考える会	長崎県	NPO法人長崎ビーチサービス SFJ
滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会	滋賀県	長浜市立下草野小学校	岡山県	さとやうエコクラブ JEC	福岡県	堀川再生の会 五平太	熊本県	大矢野のたけにがんばろう会
滋賀県	琵琶湖の里 甲賀流域環境保全協議会	京都府	京丹波県立環境委員会 JEC	岡山県	エコクラブたかし	福岡県	NPO法人遠賀川流域住民の会	大分県	大分生物圏協議会
滋賀県	野洲川を愛する会	京都府	大津市川子どもエコクラブ2004	広島県	芦田川環境マネジメントセンター	福岡県	遠賀川源流の森づくり推進会議	大分県	NPO法人水辺に遊ぶ会
滋賀県	茶会川を美しくする会	大阪府	近畿緑地環境自然探検隊 JEC	福岡県	芦田川にめだつた学校	福岡県	遠賀川を愛する会	福岡県	NPO法人大分・遠賀川ネットワーク
滋賀県	エコワンタムとつくり会	大阪府	アクアファンズ	山口県	水の道楽人 しんせいけんたい アザガザ	福岡県	川上ふるると川づり交流会	福岡県	高橋環境愛好会
滋賀県	淡海湖の学校	大阪府	少年少女文化財教室 JEC	徳島県	地蔵観音前町内会環境委員会	佐賀県	佐賀ふるさと会	宮崎県	水辺の環境をいともどとす
滋賀県	ウィメンズバレークラブ	大阪府	ガールスカウト日本連盟大阪府第21団 JEC	徳島県	ボーイスカウト徳島第13団	佐賀県	佐賀県立武雄高等学校学芸部	鹿児島県	田上にもエコクラブ JEC
滋賀県	水エコクラブの会	大阪府	おおさかバレーボール 南地区活動委員会	徳島県	ボーイスカウト徳島協会	佐賀県	塩田地区会	鹿児島県	二やま・川の子の会
滋賀県	信楽町の自然愛護の会	大阪府	狭山池づくり実行委員会 水質改善部会	徳島県	大松川リバーネット	佐賀県	(株)シシタ	鹿児島県	おおつ自然環境フォーラム
滋賀県	甲南高校 バイオとかがき系列	兵庫県	大和川市民ネットワーク	徳島県	甲南川 宮内川谷をくぐる会	佐賀県	(株)佐賀県道建設業協会	鹿児島県	鹿児島建設専門学校
滋賀県	甲南ボランティアグループ	兵庫県	塩通児童館 JEC	徳島県	年ふと・美しい江戸川	佐賀県	緑/池清水会	鹿児島県	鹿田和吉と寺島勉に会
滋賀県	甲賀女性風土づくりリグループ	兵庫県	グリーンズエ C JEC	香川県	徳島文理大学 水圏環境研究室	佐賀県	水きまクラブ 三条美由紀	沖縄県	ナガヤ・バーベジッククラブ
滋賀県	夏江環境保全ネットワーク	兵庫県	丹波 佐治川自然の会	香川県	徳島のうらけ	佐賀県	吉野市・里町上 実業委員会	沖縄県	西表マヤクラブ JEC
滋賀県	淡路森חקар	兵庫県	水環境ネット・出石	香川県	土器川生物研究所	佐賀県	元気町の町子会に協議会	沖縄県	石垣島海森学校
滋賀県	きぬがさ「里川に親しむ会」	兵庫県	NPO法人北はり田空間開発特約	愛媛県	NPO法人かわち復活プロジェクト	佐賀県	阿久川ひやしにきまひつぐの会		

※個人の参加者は22名いらっしゃいました。

VII

全国水環境マップ 実行委員会名簿

この全国水環境一斉調査を実施するにあたり、全国各地の方々からなる「全国水環境マップ実行委員会」を2004年に設立しました。

実行委員

氏 名	役 割	団 体 名	都道府県	T E L	E - m a i l
小倉 紀雄	実行委員長	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp
野村 直也	実行委員	NPO 法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
綿引 将康	実行委員	NPO 法人天塩川リバーネット 21	北海道	01654-9-6711	revernet21@ace.ocn.ne.jp
金子 博	実行委員	NPO 法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	npo-po@nifty.com
沼澤 篤	実行委員	社団法人霞ヶ浦市民協会	茨城県	029-821-0552	kca@cg.mbn.or.jp
渡邊 勇	実行委員	NPO 法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe123@tbz.t-com.ne.jp
大野 和広	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	y.fujii@guitar.ocn.ne.jp
倉 宗司	実行委員	身近な川の一斉調査実行委員会	東京都	042-562-8863	sakoganeikura@yahoo.co.jp
諏訪 祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	
佐藤 正兵	実行委員	NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
加藤 功	実行委員	NPO 法人新潟水辺の会	新潟県	025-230-3910	ecoline@mvd.biglobe.ne.jp
風間ふたば	実行委員	Yamanashi みずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
沖野外輝夫	実行委員	諏訪湖クラブ	長野県	0266-58-0490	okinow@po2.lcv.ne.jp
長尾 是史	実行委員	NPO 法人びわこ豊穂の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyou@lake-biwa.net
山崎 久勝	実行委員	NPO 法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-7240-4675	
湯木 保彦	実行委員	財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	大阪府	06-6920-3035	hozenkiko@byq.or.jp
池田 満之	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県		okakawa2@yahoo.co.jp
生野 宣宏	実行委員	NPO 法人仁淀川お宝探偵団	高知県	088-893-3275	ngckk745@ybb.ne.jp
杉尾 哲	実行委員	NPO 法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-20-2377	info@oyodo-river.org
小野 朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	090-1361-1847	nrrj59889@nifty.com

事務局

氏 名
高橋 克彦
菅谷 輝美
本間 君枝
佐山 公一

オブザーバー

氏 名
小堀 洋美
三宅 洋
金井 信宏
吉野 英夫
岡内 完治
伊藤 史朗
今田 陽子
星野 順子



身近な水環境を調べよう！

第10回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

次回調査の予定

2013年6月2日(日)を統一調査日として、第10回の全国一斉調査の実施を予定しています。
後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしくお願いいたします。

小倉 紀雄 全国水環境マップ実行委員会 実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年6月5日の「環境の日」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット(無償で配布)を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ(URL <http://www.japan-mizumap.org/>)や国土交通省水管理・国土保全局のホームページ(http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyoku/research/index.html)で公表されています。

日時 2013年6月2日(日) 世界環境デー(環境の日)に近い日曜日
測定項目 気温、水温、COD、その他
測定方法 調査マニュアル、調査キットに基づき測定(※1)
参加申込と締め切り 専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局(みずとみどり研究会)に、2013年3月10日までに送付下さい。
なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。
参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1 調査キットは、参加申込者に2013年5月頃に配布予定です。

問合せ先

○全国水環境マップ実行委員会 事務局
みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
TEL/FAX:042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。
当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年 約6000部配布しています。
詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。

誰でも、どこでもできる 水質の簡易分析製品

河川・湖沼のモニタリングに！

COD, アンモニウム, 亜硝酸, 硝酸, りん酸,
溶存酸素, 透視度 など



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

<http://kyoritsu-lab.co.jp> [バックテスト](#) [検索](#)
kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp TEL:03-3721-9207
〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11 FAX:03-3721-0666

全国一斉調査 お申し込み先

FAX: 042-327-3169 E-mail: mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第10回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)からもダウンロードできます。
2013年3月10日までに必ずE-mailまたはFAXでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

☐ 過去の参加あり ☐ 初めて

■ 参加グループ名

以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名(個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません)

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者 (個人参加の場合はご記入の必要はありません)

■ 連絡先 (グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など) 住所、電話、FAX、E-mail (特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可)

住 所: 〒

電 話

FAX

E-mail

■ 調査予定地点名 河川名など 例) ○○県 ○○川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか

河川以外の水路・水辺(農業用水路、ため池等)で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒に提出ください。(専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。)

☐ はい ☐ いいえ

■ 調査予定日 ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

☐ 6月2日に実施する ☐ 6月2日に実施できない【その場合の予定 月 日】

■ 調査予定地点数 水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。

地 点 (水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください)

■ 今後の連絡手段

今後のご連絡についてはEメールを中心に行わせていただきます。Eメールをお使いでない方は、ご希望の連絡手段を、以下にチェックして下さい。

☐ FAX ☐ 郵便物など ☐ 電 話

■ 参加申し込みの確認はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。